

平成22年11月22日

村上市長 大滝 平正 様

村上市行政改革推進委員会
会長 忠 聡

村上市における行政外部評価のあり方について(答申)

平成22年7月26日付で諮問された標記について、本委員会で審議した結果、下記のとおりまとめましたので、答申いたします。

行政外部評価については、市民の満足度向上や行政経営の効率化を高めるために必要であると考えますので、その実現に向けて「外部評価委員会(仮称)」の設置を強く求めます。

また、外部評価を生かして改善につなげていくためには、何よりも実行するスピードが要求されますので、評価制度構築の際には、市民の声をいち早く反映できる制度にしていきたいと思えます。そのことが市民のまちづくりに対する参画意識の向上につながるものと考えます。

加えて、評価を改善につなげていくためには、何よりも職員個々の意識改革が不可欠でありますので、評価そのものが目的となり形骸化することのないよう、何のために評価を行うのかということを行政内部で改めて議論し、市民に対して示していただくことを要望します。

なお、審議における主な意見を別添にまとめましたので参考としてください。

記

1. 外部評価委員会(仮称)が「いつ、誰が、どこまで、何を」するものであるか、市民に対して明確に示し、設置する意義と目的が市民に十分伝わるようにしていきたい。
2. 評価を行うに当たっては、評価制度を導入する目的やこれまで積み上げてきた行財政改革の趣旨から逸脱することのないよう、同委員会の目的や市の財政状況などを十分に理解するための勉強会を開催し、公平で客観的な評価委員会となるようにしていきたい。
3. 評価の対象については、外部評価委員会の意見のみならず、行政内部の意見、また市民の意見をさまざまな方法で広く求め、幅広く住民が参画できるようにしていきたい。
4. 委員の構成については、公募による委員を入れ、広く市民の声を取り入れていきたい。また、委員の地域性も考慮し、評価に偏りが生じないよう努めていきたい。
5. 評価した結果については、「どういう検討をして、どういう結果になったか」までを PDCA サイクルの一環として最後まで示していただきたい。